



I 第44週の発生動向 (2018/10/29~2018/11/4)

1. 咽頭結膜熱については、五所川原保健所管内で**警報**が発令されました。
2. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多い状態です。
3. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告は、A型9人でした。

II 第44週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

	東青 (東地方+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減 数
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ														
			9	0.60									9	0.14	-1
小児科	RSウイルス感染症														
	5	0.63	5	0.56	4	0.40	12	2.40	1	0.17			27	0.64	-5
	咽頭結膜熱														
	2	0.25	2	0.22	1	0.10	18	3.60			2	0.50	25	0.60	15
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎														
	4	0.50	6	0.67	9	0.90	1	0.20	11	1.83	3	0.75	34	0.81	2
	感染性胃腸炎														
	36	4.50	15	1.67	47	4.70	19	3.80	12	2.00	5	1.25	134	3.19	19
	水痘														
3	0.38	2	0.22	3	0.30	1	0.20	2	0.33	1	0.25	12	0.29	11	
手足口病															
3	0.38	4	0.44	6	0.60	6	1.20	17	2.83	1	0.25	37	0.88	-14	
伝染性紅斑															
								3	0.50	9	2.25	12	0.29	-7	
突発性発しん															
4	0.50	4	0.44	6	0.60			1	0.17	1	0.25	16	0.38	3	
ヘルパンギーナ															
		2	0.22			1	0.20	2	0.33			5	0.12	0	
流行性耳下腺炎															
				3	0.30			1	0.17			4	0.10	-7	
眼科	急性出血性結膜炎														
															0
流行性角結膜炎															
1	0.50											1	0.09	-3	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)														
															0
	クラミジア肺炎														
															0
	細菌性髄膜炎														
														0	
マイコプラズマ肺炎															
								1	1.00	3	3.00	4	0.67	-5	
無菌性髄膜炎															
														0	

は警報、 は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

クリプトスポリジウム症 (五類全数把握対象疾患)

クリプトスポリジウム症は、人や哺乳動物(ウシ、ブタ、イヌ、ネコ等)の消化管内で増殖したクリプトスポリジウム属原虫のオーシスト(接合子嚢又は嚢胞体)を経口摂取することによりかかる感染症です。

クリプトスポリジウム症の臨床症状は、水様性下痢を主症状とする胃腸炎で、半数以上の人で腹痛、嘔吐及び軽度の発熱を伴います。患者の免疫が正常であれば、通常は数日から2~3週間程度で治癒しますが、エイズなどの免疫不全状態にある場合は重篤な感染を起こすことがあり、死亡することもあります。

青森県では数年に一度、ウシとの接触が原因とされる集団発生事例が報告されています(図)。

原因となるオーシストの感染力は強く、塩素消毒に抵抗性がありますが、短時間の煮沸で容易に死滅します。農場などで動物と接触したときは、手をよく洗い、作業着等は煮沸消毒してから洗いましょう。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [クリプトスポリジウム症とは\(国立感染症研究所HP\)](#)

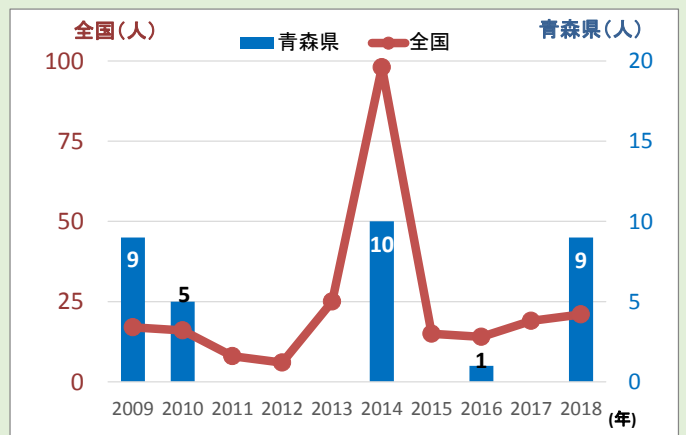


図: 青森県と全国におけるクリプトスポリジウム症報告数 (2009年~2018年第44週)

クリプトスポリジウム症とは



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人、上十三1人 (2018年計：165人)
- ・E型肝炎（四類全数把握対象疾患）：弘前1人 (2018年計：2人)
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：青森市2人 (2018年計：57人)

Ⅳ 病原体検出情報 ※（ ）内は、検査材料及び検体採取日です。

風しん疑い患者（咽頭ぬぐい液、10/15）・・・HHV7：むつ1人

風しん疑い患者（咽頭ぬぐい液、尿、血液、10/19）

・・・ヒトライノウイルスC、HHV6B、HHV7、B19：東地方1人

上気道感染患者（鼻汁、10/18）・・・ヒトライノウイルスA：弘前1人

Ⅴ 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2018年第41週～2018年第44週)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
41	H30.10.8 ~ H30.10.14	腸管出血性大腸菌 感染症1人	梅毒1人 百日咳4人	バンコマイシン耐性 腸球菌感染症1人			百日咳1人
42	H30.10.15 ~ H30.10.21			腸チフス1人	つつが虫病1人		百日咳1人
43	H30.10.22 ~ H30.10.28	アメーバ赤痢1人	百日咳1人			クリプトスポリジウム 症9人	百日咳3人
44	H30.10.29 ~ H30.11.4	百日咳2人	E型肝炎1人				

- ・第43週に青森市保健所管内でアメーバ赤痢1例の届け出がありましたので追加しました。

Ⅵ 結核(二類全数把握対象疾患) (2018年第41週～2018年第44週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
41	H30.10.8 ~ H30.10.14	2	1	1	1	1	
42	H30.10.15 ~ H30.10.21	1					
43	H30.10.22 ~ H30.10.28	1	1				
44	H30.10.29 ~ H30.11.4	1	1			1	

- ・第43週に八戸市保健所管内で結核1例取り消しがありましたので削除しました。

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第43週までの累計）

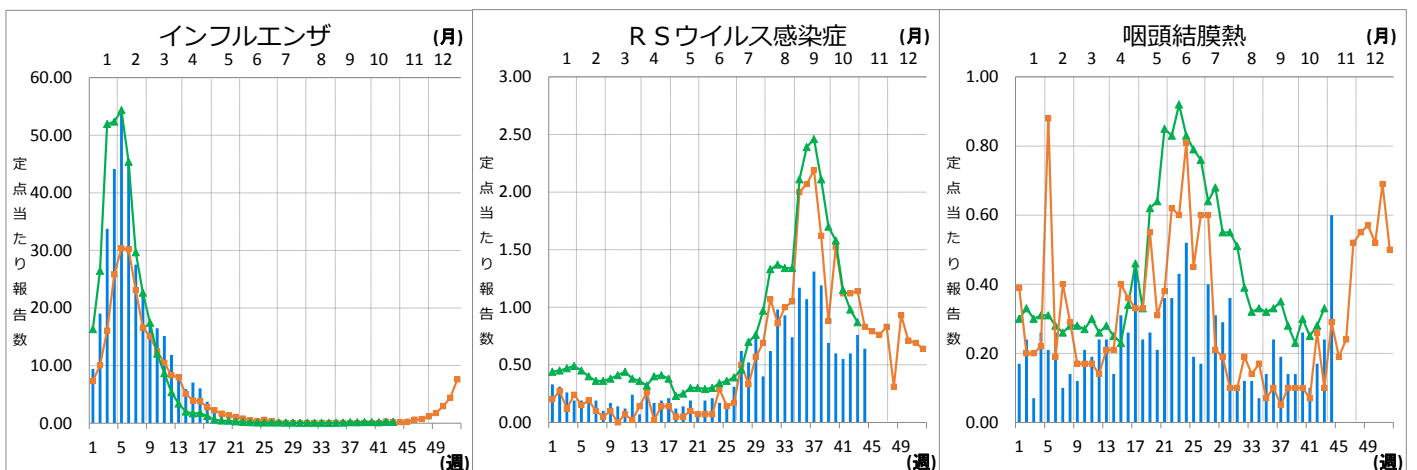
分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病
累積報告数	17828	3	199	3538	32	19	365	824	10	6
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	Q熱	コクシジオイデス症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症
累積報告数	5	3	2	72	1	3	113	157	273	3
分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類
疾病名	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺
累積報告数	2	45	13	2	1823	28	699	205	1782	86
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	537	22	175	571	1056	62	395	29	2613	356
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症		
累積報告数	5674	149	108	66	8346	1692	244	21		

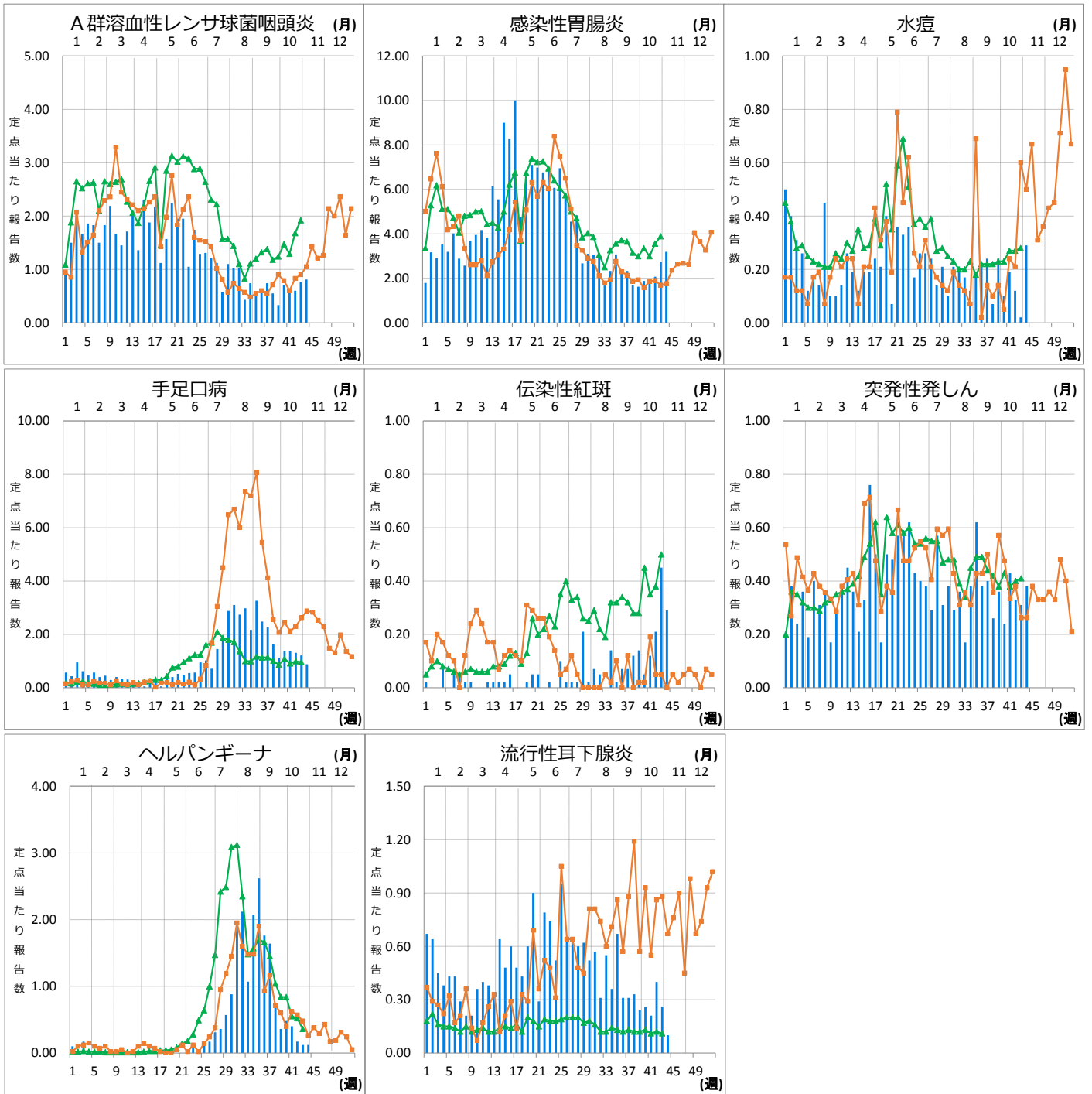
青森県（2018年第1週～2018年第44週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	165	3	32	1	2	1	5	6	3	21
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症
累積報告数	1	9	3	4	4	1	12	4	30	1
分類	五類	五類								
疾病名	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳								
累積報告数	5	57								

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第44週、ただし全国は前週）

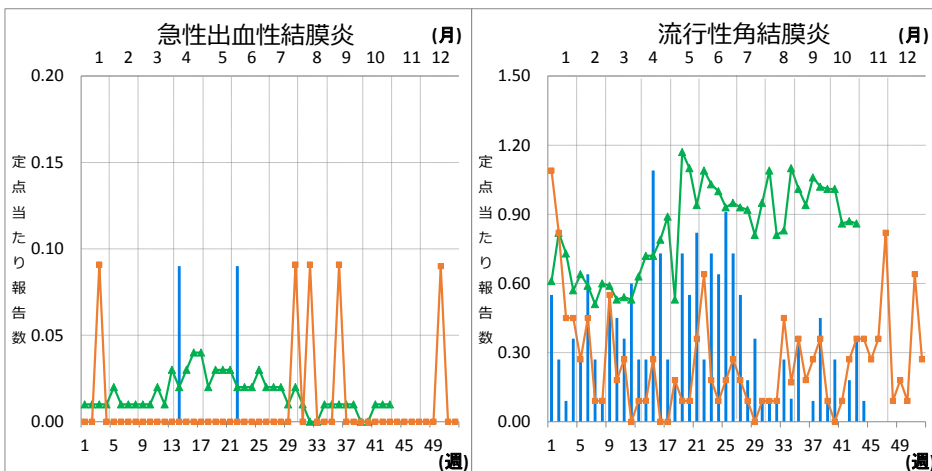
グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国





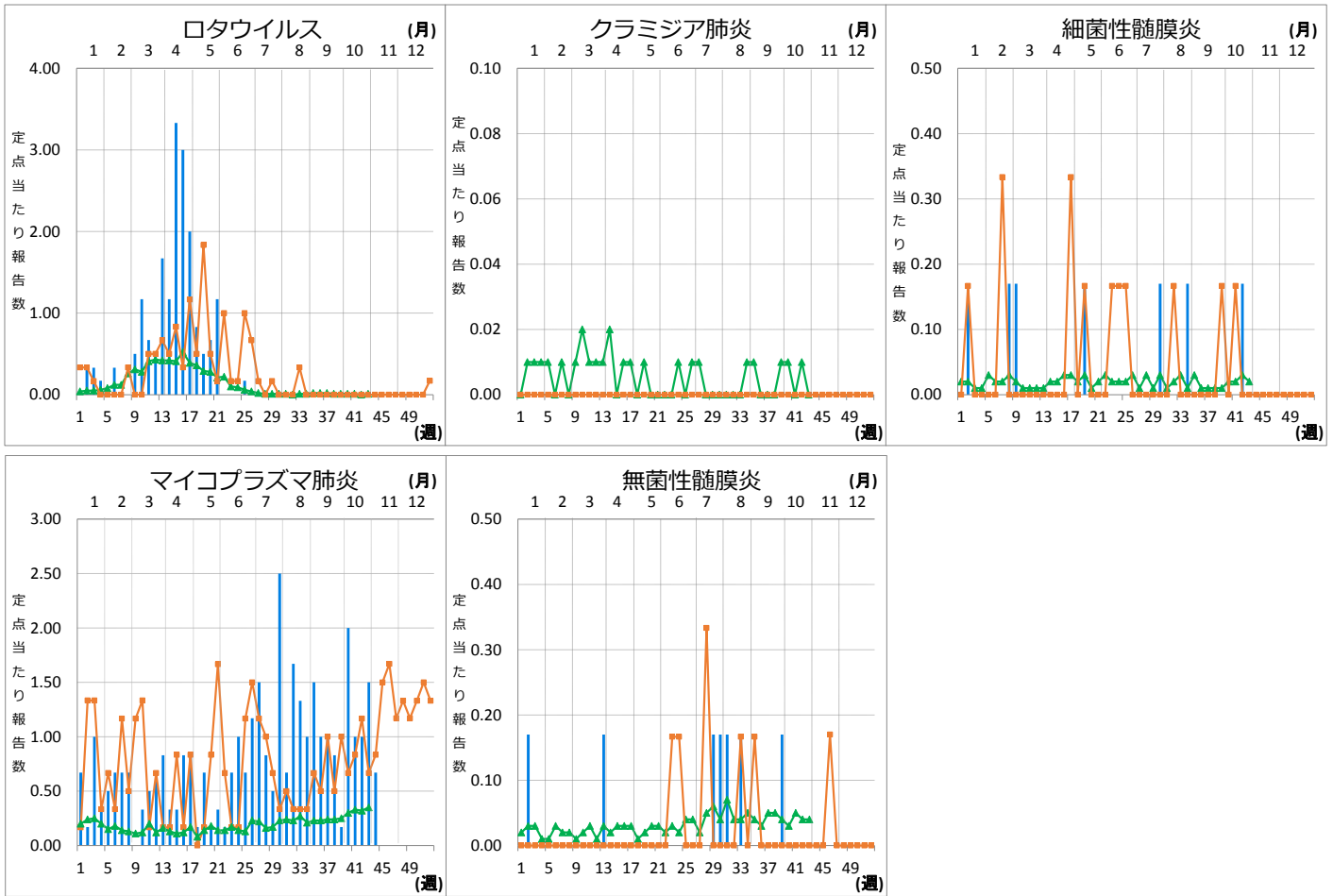
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第44週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第44週、ただし全国は前週）

グラフの説明 —は2018年青森県、■—■は2017年青森県、▲—▲は2018年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第44週
報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-39週	40-43週	44週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	0	0	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	2	2	0	0	0	1	0	9
	発症者数	0	0	0	56	21	28	0	0	0	26	0	131
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	2	2	0	0	0	1	0	15
	発症者数	56	15	36	56	21	28	0	0	0	26	0	238